



天龍村議会だより



2026

第18号

発行日：10月8日

2026年(令和8年) 第3回 天龍村議会定例会 議案一覧

同意4	天龍村教育委員会委員の任命について
議案47	令和8年度 過疎対策事業（仮称）西原村営住宅建設工事の請負契約について
議案48	令和8年度 生活基盤近代化事業 天龍村営水道敷替え工事の請負契約について
議案49	天龍村認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例について
議案50	令和8年度 天龍村一般会計補正予算（第3号）について
議案51	令和8年度 天龍村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
議案52	令和8年度 天龍村介護保険特別会計補正予算（第2号）について
議案53	令和8年度 天龍村国民健康保険診療所特別会計補正予算（第2号）について
議案54	令和8年度 天龍村営水道事業会計補正予算（第2号）について
議案55	令和8年度 天龍村営下水道事業会計補正予算（第2号）について
認定1	令和7年度 天龍村一般会計歳入歳出決算認定について
認定2	令和7年度 天龍村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定3	令和7年度 天龍村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定4	令和7年度 天龍村後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算認定について
認定5	令和7年度 天龍村国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算認定について
認定6	令和7年度 天龍村営水道事業会計歳入歳出決算認定について
認定7	令和7年度 天龍村営下水道事業会計歳入歳出決算認定について
認定8	令和7年度 天龍村財政健全化判断比率等の報告について
議案56	向方辺地に係る総合整備計画の一部変更について
選挙1	天龍村選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙

一般質問



後藤知久 議員

1 下水道の維持管理について

Q 当村の下水道（公共下水道・合併浄化槽）の普及率は？

A 公共下水道68.9%、合併浄化槽21.0% 合計89.9%

Q 公共下水道の料金改定についての予定は？

A 一般会計から年間6800万円繰り出している実情ではあるが、住民生活に直結することであることから料金改定については今後慎重に判断していく。

Q 下水道から合併浄化槽へ整備計画を転換することは考えられないか？

A 人口減少に伴い下水道の適正化から重要な選択肢の一つではあるが、現状を維持しながら将来的な方向性として捉えていく。

Q 地震等により下水道施設が被災した場合のトイレ問題についての対策は？

A 村での仮設トイレの保管、災害時支援協定による簡易トイレの確保、広域的な支援制度によるトイレカーの派遣要請などで対応していく。

2 村の残土処理場について

- Q** 十分な広さを持つ残土処理場の調査測量委託業務による新たな処理場の計画実施は？
- A** 測量設計業務委託により約6万m³の土砂の処理が出来る残土処理場について、現在地権者と土地の利用について協議している。
- Q** 広い処理場が出来るまでに、残土を処理する処理場はあるか？
- A** 現在、笠井島の対岸に約2千m³の処理量を持つ処理場があるが、県で管理している処理場の利用も必要に応じ協議していく。
- Q** 処理場として利用できる土地の呼びかけや調査は過去にはしていたが、現在は？
- A** 平成29年に処理場の募集を行った経緯があるが、現在は新たな処理場の活用を目指し進めていく。

3 熱中症対策の推進について

- Q** 住民税非課税世帯へのエアコンの設置の実績は？
- A** 令和8年8月末時点で6世帯から申請があり、そのすべての世帯に取り付けがされた。
- Q** 村のクーリングシェルターのうち、老人福祉センターの利用者は？
- A** 把握しているところでは1名です。
- Q** 年々酷となっていく熱中症に対し今後の計画は？
- A** 啓発活動の充実と一人暮らしの高齢者などに対する見守り、安全の確保を強化します。小・中学校では子供たちの水分補給と暑さ指数メーターの設置による熱中症への理解、下校時におけるネッククーラーのようなものの使用を検討していく。



熊谷美沙子 議員

1 役場の業務フローの見直し、改善について

- Q** 引継ぎ時の事務処理等の不備により、村民の皆さんにご迷惑をおかけする事態が続いている。時代と共に仕事に対する熱意や責任感なども変化している中で、改めて誰が見ても分かりやすい業務フローを作成する考えは？

- A** 副村長：引継書の中には、年間のスケジュールや時期ごとの業務手順を示す工程、留意すること、Q&Aへの案内などのフローがあり、誰が引き継いでも分かるようになっている。そのため改めて作成することは考えていない。
- Q** 変更や更新があった場合には、その都度担当の方が追加や削除をして引き継ぐとのことなので、職員の皆さんや係長、課長の負担軽減にも繋がるよう、機会があれば見直しをしていただければと思う。
- A** 副村長：今年度に入ってから不適切な事務に関しては、業務フロー自体の不備等ではなく、規定で定められたことが出来ていなかったことや、職員間のコミュニケーションの欠如によって問題が発生したと考えている。

これからコミュニケーションが苦手という方が増えてくると思う。私たちとは考え方も違ってきているので難しい時代ではありますが、人間関係を含め相談しやすい環境や体制作り、メンタルケア等にも留意していただくようお願いしたい。

2 村営住宅の設備について

- Q** 村営住宅のエアコンの設置率は？
- A** 振興課長：現在54戸中47戸に設置されている。なお、建設時に村の費用で設置したのはコーポあさぎりの6戸のみである。

- Q** 村営住宅に入居する際に個人でエアコンを設置したとの話を聞いていましたが、41戸は個人負担で設置していることになる。年々暑さも厳しくなり、村営住宅に入居するのにエアコンを自費で設置するには費用もかかりますので、指定機種なら補助を出すとか残していただける場合にはお礼をするなどの考えは？
- A** 振興課長：現時点で85%以上の設置率ということと、これまで自費で設置された方との公平性を考慮すると、既存の村営住宅については今までどおりとさせていただきたい。
なお今年度西原地区に建設する住宅については標準でエアコンの設置をする。
- Q** 村営住宅を借りる際に係の説明が不十分であった、掃除が行き届いていなかった等の声を聞いている。また空家バンクに登録される住宅では、好意で残していかれた家財道具などを入居者の負担で片付けるといった事例も聞いている。入居される方が気持ちよく生活をスタート出来るよう配慮していただきたい。
- A** 振興課長：入居時の説明漏れを防ぐための説明事項のリストの活用を図るとともに、退去時及び入居直前における住宅内の点検・確認作業を改めて徹底している。今後も入居される皆さまが安心快適に生活を始めていただけるよう、再発防止と対応体制の強化に努めてまいりたい。



今村久雄 議員

1 ヘリポートと救急医療体制

- Q** ヘリポートの用途は、防災(消防防災ヘリ・災害派遣医療チーム等)に限定するのか。ドクターヘリのランデブーポイントとしての活用も想定しているか？
- A** 村長：当然です。今回整備するヘリポートも、ドクターヘリの離着陸場として活用することを想定している。
- Q** ドクターヘリのランデブーポイントとして正式登録する場合、消防機関(飯田広域消防本部)・運航会社(中日本航空)・県との協議、地権者(村)としての合意手続きが必要になる。予定しているか？
- A** 村長：予定も何も、旧天龍中学校グラウンドについては既に登録済み。今回の整備において後、変更等の手続きが必要という事になれば手続きを進めて行く。
- Q** 仕組みの確認です。ドクターヘリは、119番通報や救急隊の判断で消防本部が基地病院に要請し、離陸まで3~4分、受付から現地到着まで30~35分、待ち合わせ場所で救急車と合流して医師が治療を始める、という流れでよいのか？
- A** 総務課長：村は直接出動を要請するものではないが、消防機関や医療機関の迅速な連携によるこの仕組みは、村民の皆様の命を救う上で極めて重要な仕組みであると認識している。
- Q** ドクターヘリは「救急車より早く病院に着く手段」ではなく、超音波検査装置、心電図モニター、人工呼吸器、除細動器などを備えた「移動する救急救命室」が現場に来る仕組みである。一般の診療所にはない装備で、現場に着いてすぐ、画像診断を含めた医師の判断と治療が始まり、搬送中も治療や観察が続けられることが最大の利点である。一方、悪天候や夜間は出動に制限がある。これらを把握していたか？
- A** 当然承知していた。
- Q** 医療体制の変化と、ドクターヘリを含む救急搬送体制の強化について、村民に説明する機会(広報・説明会など)を設ける考えはあるか？
- A** 総務課長：既存のヘリポートの役割は変わらないので、改めて説明する予定はありません。ただ、村の予算で移設整備する事業なので、新しいヘリポートの完成後は、広報などを通じてお知らせする予定です。
- Q** これまで、天竜村でドクターヘリを要請したことは何件ぐらいあったか？
- A** 村では、特に要請した実績はない。

ドクターヘリは、「ヘリコプターが来て、病院まで運んでくれる」ものだと思っている方がいます。私自身も勘違いしていました。実際は、医療機器をそなえた「移動する救急救命室」が現場に来て、すぐに治療を始められる仕組みです。

旧天龍中学校グラウンドは、すでにドクターヘリの待ち合わせ場所(ランデブーポイント)として登録されています。いざというときに使える場所があることは、医療体制への安心感につながります。何かあったときのために、この仕組みを村民にきちんと伝えてほしいと思います。

あわせて、飯田市を中心とした南信州地域での3機目のドクターヘリ配備も見据えながら、村民が安心して暮らせる体制づくりを進めてほしいと思います。



熊谷よし江 議員

1 人事異動と人材育成、業務改善について

Q 人事異動は、どのような考え方でおこなっているか？

A 副村長：限られた職員数の中で、村民への行政サービスを安定的・継続的に提供することを基本に、職員一人一人の経験、能力、適性を踏まえた「適材適所」の配置

をおこなっている。本人の意向や希望も可能な限り考慮し、人材育成やキャリア形成につなげている。

村長：職員は、全体の奉仕者として、村民の生命、財産、暮らしを守り、地域の課題や多様化する行政需要に的確に対応していく使命がある。

Q 異動しても、職員が培ってきた知識や経験が途切れないための対策は？

A 副村長：前任者から後任者へ仕事の引き継ぎを行い、専門性や経験を共有しています。引継書に書かれていない経験上の「豆知識」なども、口頭で伝えるよう職員が心がけている。

また、特定の職員だけが知っている状態(属人化)を防ぐため、日常の業務の中でも情報を共有し、他の職員にも知識や経験を伝えるよう努めている。

Q 異動や休暇があっても、行政サービスが滞らない仕組みは？

A 副村長：決まった手順の事務や問い合わせの多い業務は、課や係の中で資料などを共有している。窓口では一人一人の状況に応じた判断も必要なため、すべてを一律にマニュアル化するのではなく、対応している。令和8年度からは、他の市町村の業務マニュアルを閲覧できるサービスの活用も始めました。参考となる事例を取り入れながら、仕事の進め方を誰にでも分かる形にする「見える化」に向けて、準備と検証を進めている。

Q 職員数が減っていく中、今後の人材育成と業務改善をどう進めるか？

A 副村長：計画的な人事異動や研修を通じて、幅広い知識や経験を身につけられるよう人材育成を進める。職員同士が気軽に相談し、経験や知識を伝え合える環境づくりも重要と考えている。

また、今の業務をただ効率よく行うだけでなく、「そもそもこの業務は必要なのか」「もっと簡単な方法はないか」という視点で見直していく。電子決裁(書類を電子データで決裁すること)や電子契約、AIの活用なども進めている。

私は、「優秀な職員が頑張って役場を回す」のではなく、「優秀な職員が人を育て、組織として役場を運営する」ことがこれからの村に必要なだと考えています。

職員一人一人の知識や経験を組織の力につなげ、職員が気軽に相談でき、明るく仕事ができる環境をつくること、村民へのより良い行政サービスにつながると考えています。

2026年9月 村松克一議長 活動記録

- 9月1日 (火)
月初め議会運営委員会
- 9月3日 (木)
天龍村議会初日
- 9月8日 (火)
学生による調査研究報告会 (同懇談会)
- 9月10 (木)
西原村宮住宅 地鎮祭出席

- 9月14日 (月)
南部議会議長会/阿南町役場
- 9月15日 (火)
天龍村議会最終日
- 9月16日 (水)
敬老会出席
- 9月25日 (金)
長野県町村議会議長会 総会・部会
- 9月26日 (土)
譲葉祭 見学

お知らせ

- 板倉幸正議員は、手術およびリハビリテーション治療のため、しばらくの間、議会活動を欠席いたします。現在は早期の職務復帰に向けて療養に専念されております。皆様のご理解をお願い申し上げます。
- 図書館で過去の議事録が閲覧できます。